

エフピコモデルの資源循環型リサイクル

トレー to トレー & ボトル to 透明容器



2026年1月21日
株式会社エフピコ
サステナビリティ推進室

自己紹介

株式会社エフピコ

執行役員 サステナビリティ推進室
ジェネラルマネージャー

富樫 英治（とがし えいじ）

【略歴】

2000年 株式会社エフピコ 入社

営業企画部、総務部、人事部と主に管理部門に従事

2010年 経営企画室 シニアマネージャー

2012年 環境対策室 ジェネラルマネージャー 就任

2022年 サステナビリティ推進室 に呼称変更

2025年 執行役員 ジェネラルマネージャー（現任）



会社概要

設立	1962年(昭和37年)7月24日						
代表者	代表取締役会長 兼 エフピコグループ代表 佐藤 守正 代表取締役社長 安田 和之						
資本金	13,150百万円						
従業員	984名 (エフピコグループ: 5,104名)						
本社	福山本社(広島県福山市) 東京本社(東京都新宿区)						
主な事業内容	ポリスチレンペーパーおよびその他の合成樹脂製簡易食品容器の製造・販売並びに関連包装資材等の販売						
連結業績	<table><tr><td>2025年3月期実績</td><td>2026年3月期計画</td></tr><tr><td>連結売上高 2,356億円</td><td>連結売上高 2,425億円</td></tr><tr><td>経常利益 184億円</td><td>経常利益 215億円</td></tr></table>	2025年3月期実績	2026年3月期計画	連結売上高 2,356億円	連結売上高 2,425億円	経常利益 184億円	経常利益 215億円
2025年3月期実績	2026年3月期計画						
連結売上高 2,356億円	連結売上高 2,425億円						
経常利益 184億円	経常利益 215億円						



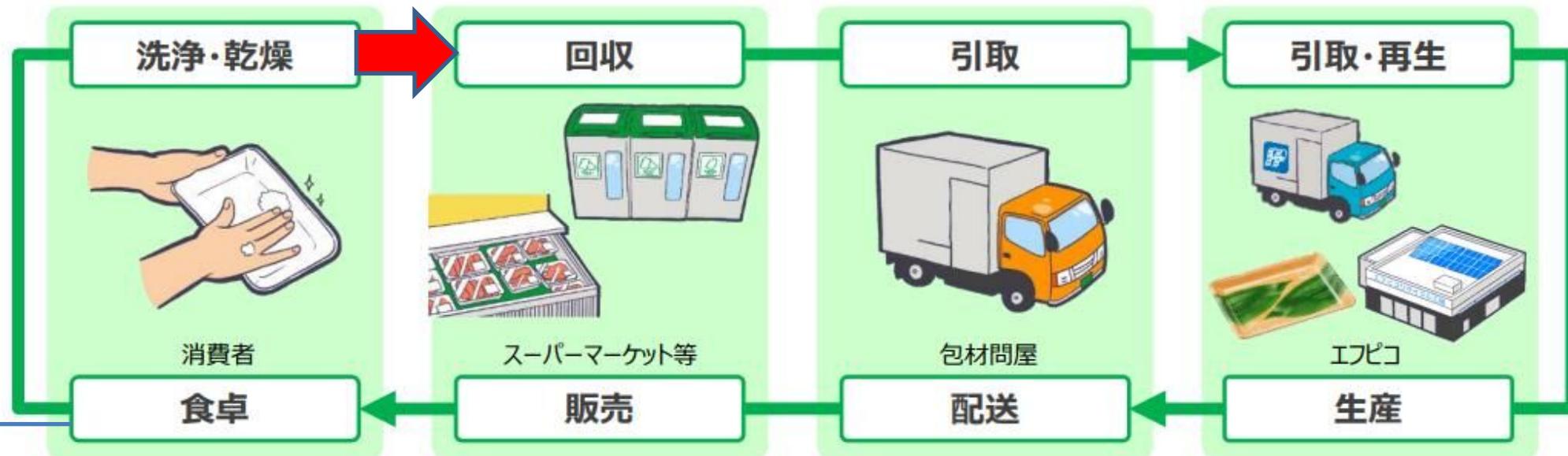
福山本社



東京本社



エピコモデルのリサイクル ①発泡トレイ



自治体
容器包装リサイクル法

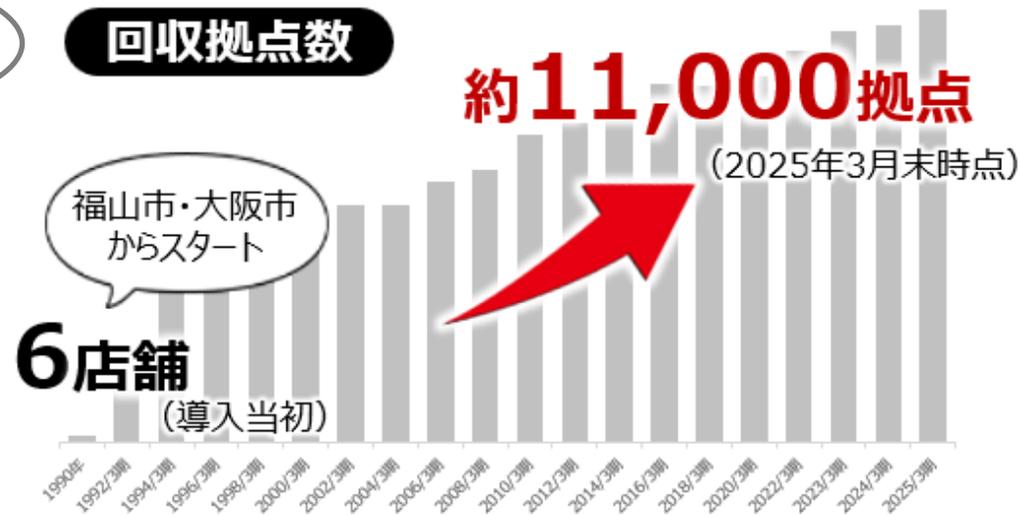
歴史

- 1987年 米国 マクドナルド不買運動
- 1990年 エピコ方式のリサイクル開始**
- 1992年 「エコトレイ」の販売開始
- 1995年 容器包装リサイクル法制定
- 2008年 透明容器のリサイクル開始
- 2011年 PETボトルのリサイクル開始
- 2012年 「エコAPET」の販売開始
- 2016年 「エコOPET」の販売開始

1990年 容器包装から
紙包装へ変更



回収拠点数



エピコモデルのリサイクル ①発泡トレー

①搬入



各リサイクル工場・選別センター

②選別



白・柄・不適品に選別

③風力選別



細かな異物を除去

④洗浄・すすぎ・脱水



熱水や洗剤で洗浄

⑤溶融・押出



高温で加熱、粒状に加工

⑥完成

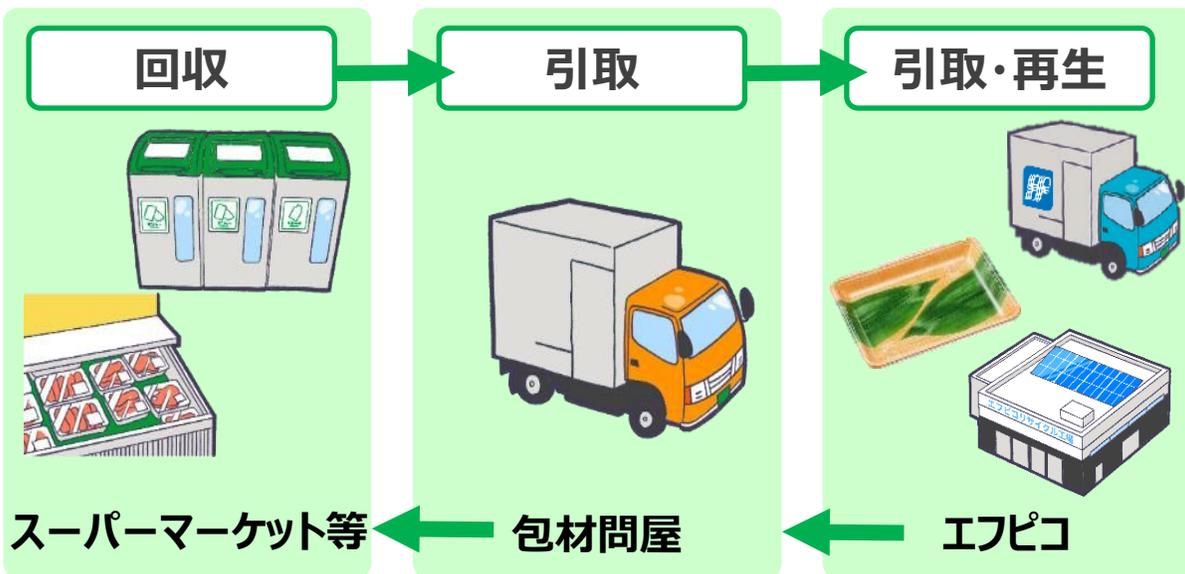


食品容器グレードのペレット

エピコモデルのリサイクルのポイント 入り口と出口

①回収システムの構築

帰りを活用 逆流通システム



②再商品化の方向

エコトレーに成形加工

再生ペレット



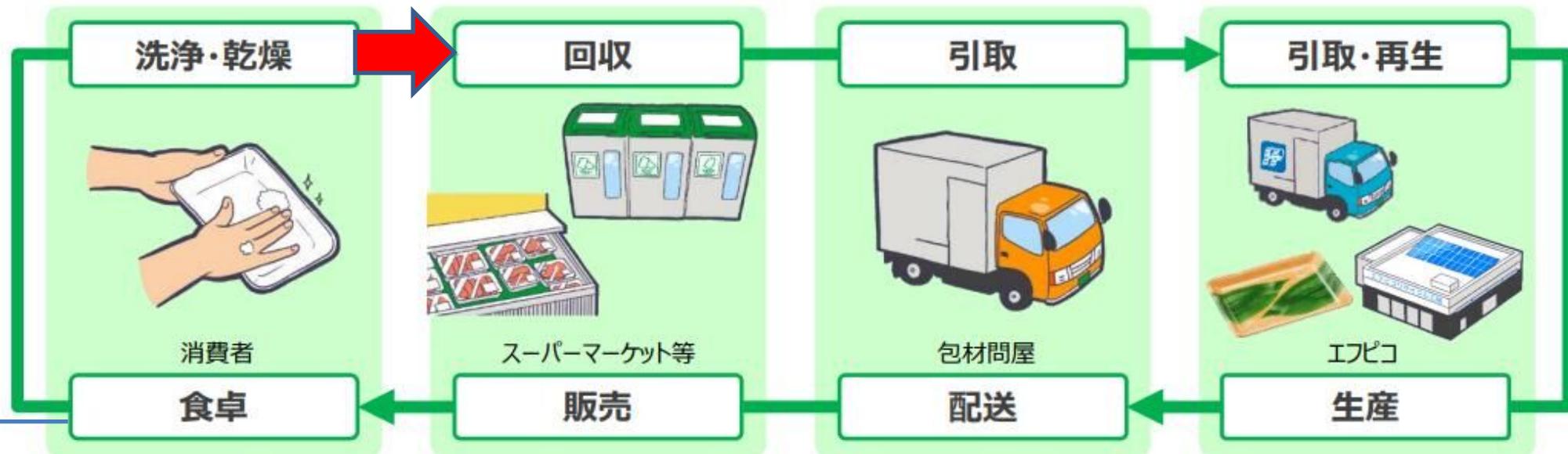
加工先



※黒ペレットは外販



エピコモデルのリサイクル ②透明容器



自治体
容器包装リサイクル法

歴史

- 1987年 米国 マクドナルド不買運動
- 1990年 エピコ方式のリサイクル開始
- 1992年 「エコトレ」の販売開始
- 1995年 容器包装リサイクル法制定
- 2008年 透明容器のリサイクル開始**
- 2011年 PETボトルのリサイクル開始
- 2012年 「エコAPET」の販売開始
- 2016年 「エコOPET」の販売開始

1990年 容器包装から
紙包装へ変更



回収拠点数

約6,300

店舗

(2025年3月末時点)



エピコモデルのリサイクル ②透明容器（素材識別）

①搬入



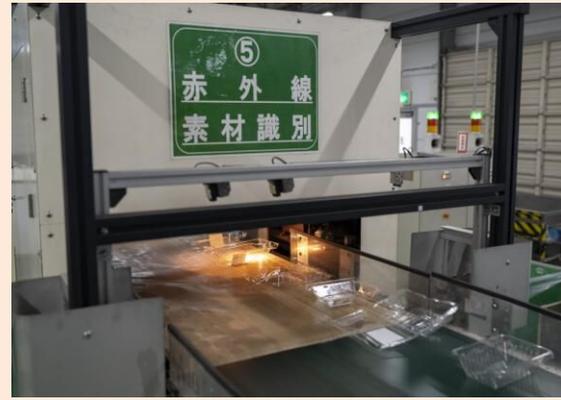
各リサイクル工場・選別センター

②手選別・整列



選別、容器をタテに並べる

③素材識別・選別



近赤外線素材を識別



素材ごとに分ける

透明容器素材

PET



約50%

OPS



約30%

PP



その他



約20%

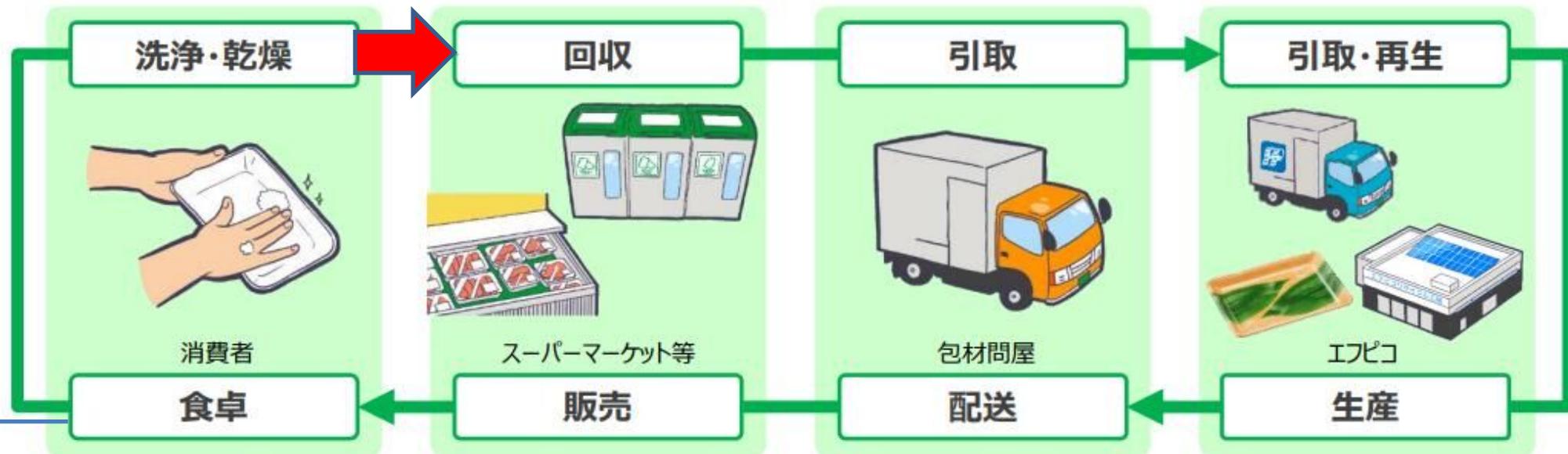


OPSペレット



PETフレーク

エピコモデルのリサイクル ③PETボトル



自治体
容器包装リサイクル法

歴史

- 1987年 米国 マクドナルド不買運動
- 1990年 エピコ方式のリサイクル開始
- 1992年 「エコトレ」の販売開始
- 1995年 容器包装リサイクル法制定
- 2008年 透明容器のリサイクル開始
- 2011年 PETボトルのリサイクル開始**
- 2012年 「エコAPET」の販売開始
- 2016年 「エコOPET」の販売開始

1990年 容器包装から
紙包装へ変更



調達ルート

スーパーマーケット店頭 

指定法人ルート 

事業系ルート 

エフピコモデルのリサイクルのポイント 回収と運搬

発泡スチロールトレー

回収袋 約300kg



減容圧縮姿 約1200kg



4倍
積載

各地で**選別・圧縮**して
リサイクル工場へ輸送

金沢選別

松本選別

西宮選別

関西選別

福山リサイクル

九州選別

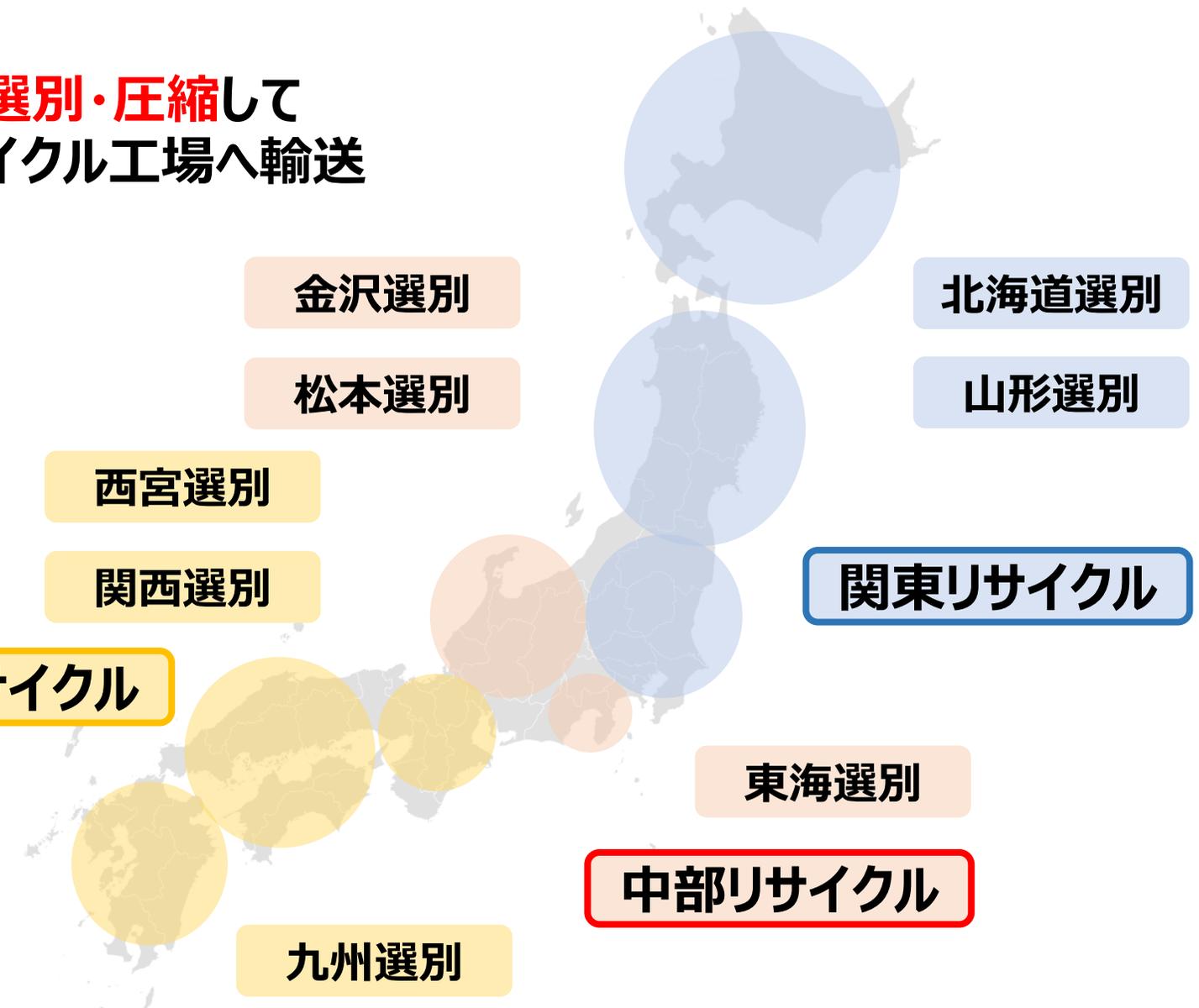
北海道選別

山形選別

関東リサイクル

東海選別

中部リサイクル



能力を最大限に活かすダイバーシティ経営

選別

使用済み食品トレー
透明容器



製造

食品トレー容器の成形、
組立加工、検品、包装



職域拡大への挑戦



エフピコグループ内の一般工場、物流の現場

エフピコグループ 2025年3月時点

障がい者雇用人数	: 401名
障がい者雇用換算数	: 676名
障がい者雇用率	: 12.6%

障がい者雇用に関する評価

- 2019年1月 (厚労省)
「H30年度 障害者活躍企業」認証
(エフピコダックス㈱)
- 2024年9月 (東洋経済新報社)
「障害者雇用率ランキング」 3位
- 2022年6月 (厚労省)
「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する
認定 (もにす認定)」 (エフピコダックス㈱)



プラスチック資源の回収量

※枚数・本数は、標準的なグラム数にて換算
PSP：4g、透明容器：10g、PETボトル：25g

回収重量



エコ製品の販売実績

エコ製品売上
913億円
(2025年3月期)

エコ化率
(枚数ベース)
51%
(2025年3月期)

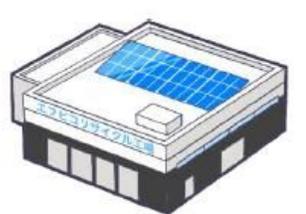
エコ化率伸長により
シェア拡大・収益性の向上

PSP：溶解分離リサイクルの技術



エコトレの販売ケース数
約30%増加

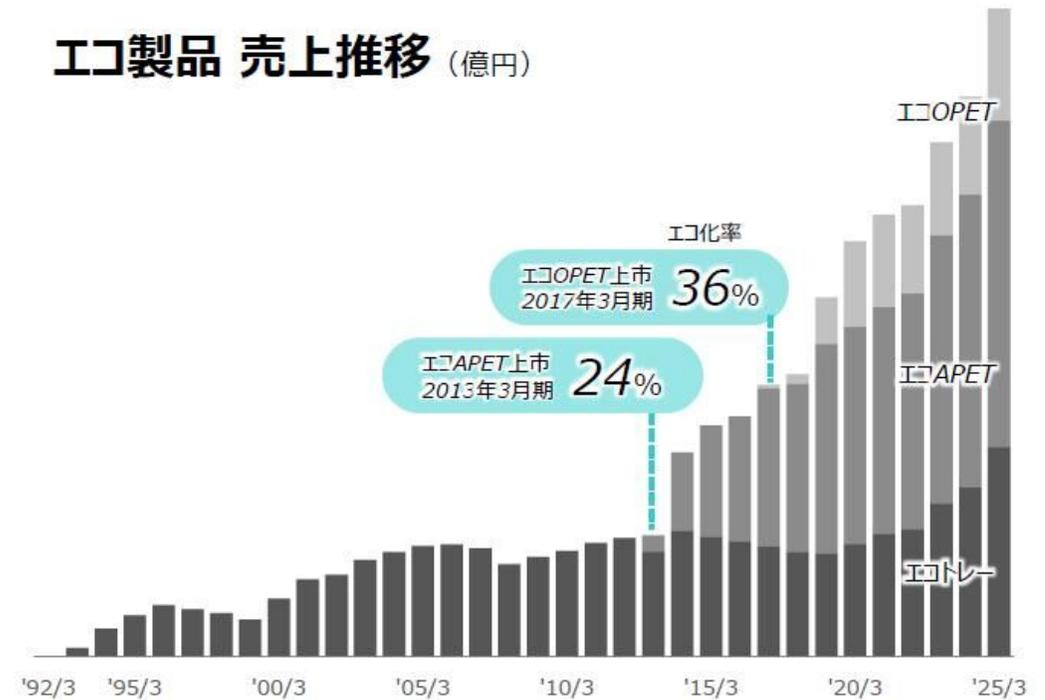
PET：再生原料の生産能力増強



エコ原料生産能力
6.5万トン ▶ 7.5万トン
(2026年春予定)

押出機増設

エコ製品 売上推移 (億円)



エコ製品によるCO₂排出量削減 【気候変動対応】

エコトレー



CO₂削減効果

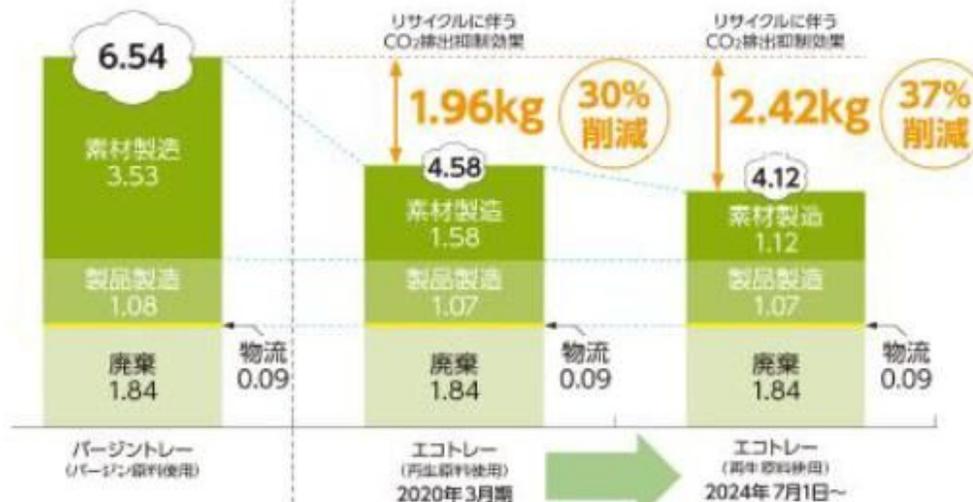
30%

2024年7月1日出荷分～

37%

太陽光発電稼働時期

2022年 3月 関東リサイクル工場
2022年10月 中部リサイクル工場
2024年 3月 福山リサイクル工場

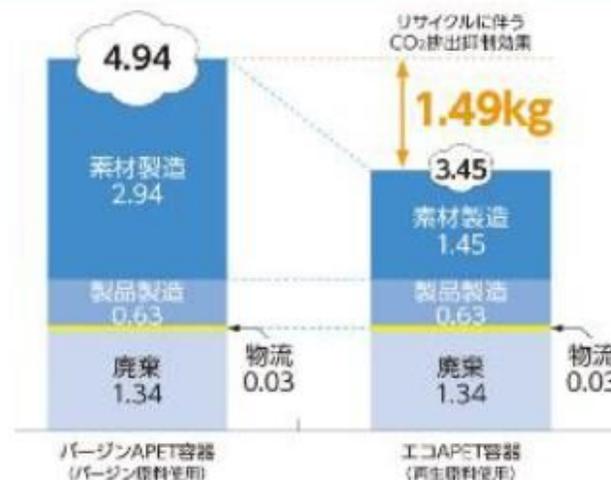


エコAPET・OPET容器

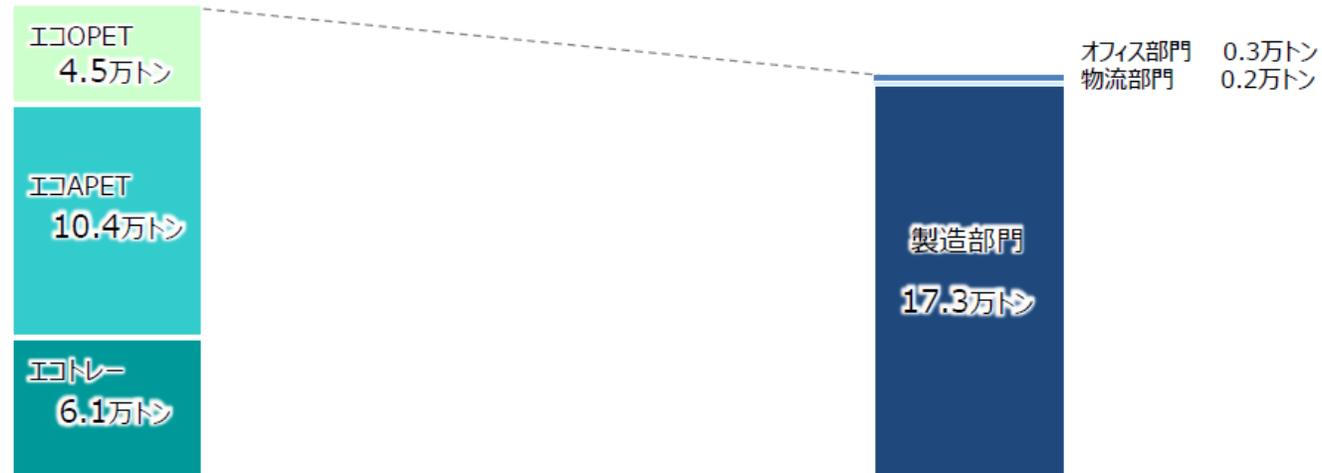
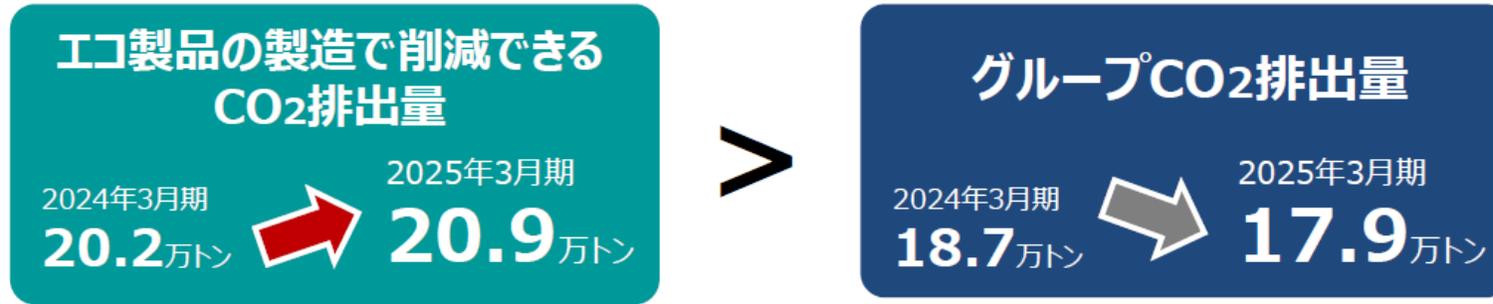


CO₂削減効果

30%



エコ製品によるサプライチェーンへのCO2削減貢献量



CO2削減量の増加要因

① 太陽光発電による再生エネルギー導入
エコPSP製品のCO2削減量

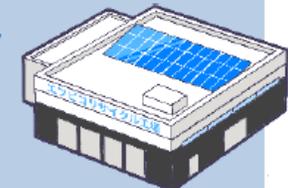
30% ▶ 37%削減

② エコ製品の販売が好調
2025年3月期 前年比 (枚数)

106.2%

CO2排出量の減少要因

再生エネルギーの活用
省エネルギーの推進



お店を発着点とした「ストアtoストア」

お店で使用・販売した食品トレー・ペットボトルは
そのお店で資源として回収し、食品トレー・透明容器に再生して、
また そのお店で積極的に使用する



エコ製品の消費者への訴求

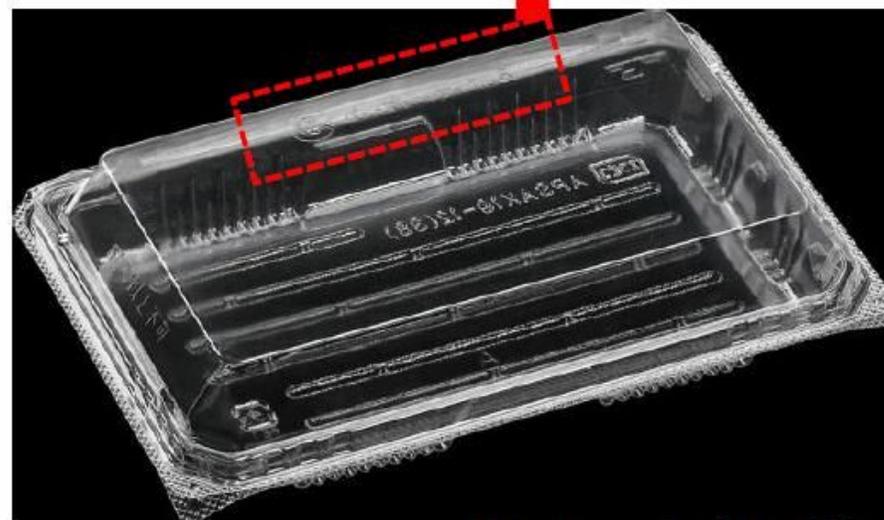
環境に配慮した製品であることをわかりやすくするため
エコ製品に「**エコマーク**」「**ペットボトルリサイクル品**」を表示刻印。

エコトレー



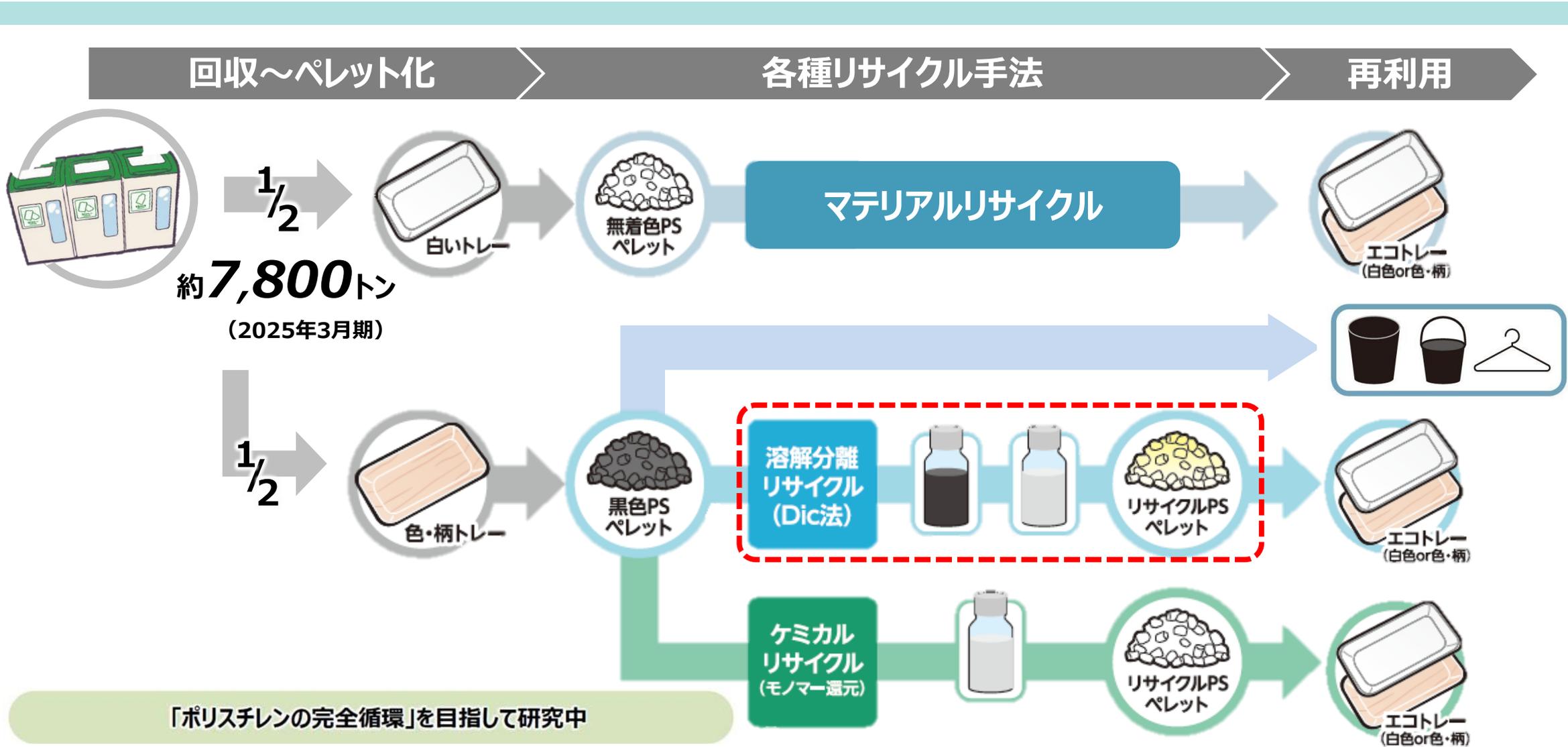
エコトレー全製品に表示済み

エコAPET・エコOPET



売れ筋製品より順次刻印追加

エコトレの販売拡大に向けて



エフピコ環境基金の創設



エフピコ環境基金
The FP Corp. Environment Fund

1990年

「エフピコ方式のリサイクル」をスタート

2020年3月

「エフピコ環境基金」を創設

これからの社会的課題の解決をテーマに活動する団体への助成

助成実績

2021年3月期： 10団体

2022年3月期： 14団体

2023年3月期： 14団体

2024年3月期： 22団体

2025年3月期： 17団体



助成先団体の活動（一部紹介）

エフピコグループ社員もボランティアとして参加

荒川クリーンエイド・フォーラム(東京都)



棚田LOVERs(兵庫県)



河北潟湖沼研究所(石川県)



トレーのせけん



地球の未来を

“トレー to トレー”
“ボトル to 透明容器”

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ご清聴ありがとうございました